

附属札幌中学校「学校だより」

藤 房

北海道教育大学
附属札幌中学校

令和5年7月27日発行

No.5

新たなステージに移行する本校の学び

副校長 岩淵 浩憲

グローバル化や情報化等の変化が加速的に進む中で、人工知能（AI）が飛躍的に進化し、今、求められる力とは何か問われている中、みずみずしい感性や、目的に応じて創造的に問題解決できる能力といったものは、学校で育む「人としての強み」「人としてできること」であり、また普遍的なものであると言われています。

昨日行われた研究大会では、「自他を往還し批判的・創造的に学ぶ生徒」を研究主題として、その実現を生徒の姿を通して参会した皆様に見ていただくことができました。参会した皆様からは、「生徒が自分の考えをしっかりと述べ、創造的に学び会う姿をみることができた」や「これまでに学んだ知識をしっかりと活用しながら課題を解決する姿が見られた」という感想が寄せられ、これからの時代に求められる「人としての強み」「人としてできること」を育む学校教育としての在り方を、生徒の姿をとおして発信できたことを嬉しく思っております。

思えば、令和元年にはじまった新型コロナウイルス感染症の影響により、これまで当たり前として行ってきたグループワークや、合唱、近距離で活動する学習などが感染リスクの高い学習活動として制限されることとなりました。人と関わることで自他の考えや価値観に影響を与える「学び合い」を、学習を進める上での基本としてきた本校においても、例外なく制限を余儀なくされることとなりました。

そのような中、「生徒の学びを止めない」を合言葉に、保護者、PTA・ふじづる役員の方をはじめ、多くの方の御支援により、ICT環境を充実させ、ICT機器を活用した新たな形での「学び合い」を、これまでの実践の積み重ねとして研究大会の中でも展開することができました。

新型コロナウイルス感染症が2類から5類に引き下げられ、様々な活動が再開され、本校は、コロナ禍で生み出してきた学習形態等を融合させながら、新たなステージへと移行していくこととなります。第Ⅱ期は藤華祭をはじめ大きな学校行事も予定されております。新たなステージに移行した本校の学びの姿を保護者の方にも、様々な場面でご覧いただきたく存じます。そして、お子さまの成長を見守り支えていただきたくとともに、引き続き、ご支援を賜りますように心よりお願い申し上げます。

■北陵高校実習

6月30日（金）に、北海道札幌北陵高等学校の3年生が一日日程の教育実習のために来校しました。将来は教師になりたいという希望を持っていて、教育実習を通して自分の将来の夢をより明確にし、大学進学などの今後の進路実現の原動力にしたいと考え、自主的にプログラムに参加に参加した高校生です。当日は授業の観察や昼休みを中心に本校生徒と触れ合い、



最後は道徳の授業を行いました。各学級の生徒も、初めて授業をする高校生とともに、積極的に授業に臨む姿が見られました。

■藤華祭 PJ 活動開始

7月6日(木)から、藤華祭のPJ活動が始まっています。現在は藤華祭テーマに基づいてどのような掲示物やシナリオにするかなどについて、各PJで積極的に話し合いを進める姿が見られます。コロナ禍では2つの体育館に分かれて行っていた藤華祭でしたが、今年度は数年ぶりに、1つの体育館に全校生徒が集まって、新たなスタイルの藤華祭を目指しています。本格的な活動は夏季休業明けになりますが、第76期生、第77期生、第78期生が1つにまとまる、素晴らしい藤華祭になるよう頑張りたいと思います。



8月の行事予定

日(曜日)	行事等の予定	下校バス時刻(予定)
24(木)	夏季休業	
25(金)	授業開始前集会	16:20
26(土)	学校説明会 部活動不可	
27(日)	部活動不可	
28(月)	教育実習開始/前期末テスト①(国・数・社・理・英)	15:20
29(火)	前期末テスト②(音・美・体・技家)/藤華祭PJ/(放)選挙管理委員会	15:20
30(水)	研究日/委員会・専門局会/ロンドン大学留学生交流(3年)	16:20
31(木)	帰り学活10分延長/(放)選挙管理委員会	16:20

【表彰】札幌市中体連ソフトテニス大会の入賞者を紹介します。

入賞した皆さん、おめでとうございます。

◇男子団体戦 第3位

鈴木瞭輔さん、渡辺朔都さん、楠野将生さん、石崎勇雄太さん、
大橋維央さん、川口隼平さん、菅原弘嗣さん、金子怜央さん

